



会報

七草

雪舟庭（山口市）



令和3年度土地家屋調査士年次研修



令和3年度第3回本部研修会



土地家屋調査士ウェア助成実施中



CONTENTS



No.138-2022

1

新年あいさつ

山口地方法務局	局長	石崎 司	1
山口県土地家屋調査士会	会長	杉山 浩志	2
山口県土地家屋調査士政治連盟	会長	井上 哲也	3
山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	代表理事	八田 廣	4

第1期年次研修会報告	業務部理事	阿川 哲雄	5
------------	-------	-------	---

第3回本部研修会報告	広報部理事	荒川 猛	6
------------	-------	------	---

支部研修会報告	岩国支部理事	永田 裕之	7
	宇部支部企画委員	白石 龍二	8

中国ブロック担当者会同の報告

広報部長	西村 暢夫	9
------	-------	---

山口法律関連士業ネットワーク

定期大会 報告	広報部長	西村 暢夫	13
一斉共同相談会 開催報告	広報部長	西村 暢夫	14

PTA 交流授業の報告	岩国支部	井上 雄太	16
-------------	------	-------	----

事務所紹介	岩国支部	安永 健士	17
	萩支部	三好 一敏	19

会員の作るページ

富士山	萩支部	廣石 勝	22
-----	-----	------	----

事務局だより			23
--------	--	--	----

広報部からのお知らせ			26
------------	--	--	----

新年の御挨拶



山口地方法務局長 石崎 司

新年明けましておめでとうございます。

山口県土地家屋調査士会会員の皆様におかれましては、御家族共々、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素から当局の業務運営に深い御理解をいただくとともに、登記制度の適正・円滑な運用に格別の御支援・御協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、社会問題化している所有者不明土地問題の解消を図るための施策として、令和元年度から開始した表題部所有者不明土地解消作業に当たっては、会員の皆様方の中から、所有者等探索委員11名を任命させていただき、当局職員と共に、当該土地の所有者等探索のための実地調査等のほか、所有者等の調査に関する報告書の作成等を行っていただいています。

また、筆界特定事件処理においては、会員の皆様方の中から、筆界調査委員22名を任命させていただき、筆界特定に関する調査・意見書の提出を行っていただいています。

所有者等探索委員及び筆界調査委員として、皆様方がこれまで培ってこられた高い専門知識を発揮していただき、これら当局の事業及び筆界特定事件処理が円滑に実施できるよう御協力をお願いいたします。

次に、オンライン申請の利用促進についてです。当局では昨年度に引き続きオンライン申請利用率向上に取り組んでいるところです。既に御利用いただいている会員の皆様方

には、なお一層の御利用をお願い申し上げるとともに、御利用いただいていない会員の皆様方におかれては、新年を機に是非とも利用いただき、その利便性を実感していただきますよう、お願い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下ではありますが、所有者不明土地問題を始めとする各種施策を幅広く推進していくために会員の皆様と連携しながら広報活動等に取り組んでいきたいと考えていますので、御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、山口地方法務局は、本年も皆様の御支援をいただきながら、国民の皆様の信頼と期待に応え得る質の高い行政サービスの提供を目指して、職員一同、全力で取り組んでいく所存ですので、引き続き御支援のほどよろしくお願い申し上げますとともに、山口県土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員及び御家族の皆様の御多幸を祈念いたしまして、私からの新年の挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶

山口県土地家屋調査士会 会長 杉山浩志



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、心新たに令和4年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、日々、新型コロナウイルス感染症のニュースをTVやインターネットで確認し、マスクや手指の消毒を行い、外での飲食に対して人数制限等の規制が設けられるといった生活スタイルを繰り返す一年であったかと思えます。

昨年10月末頃には国内の感染者数が急減し、年末には飲み薬の承認も行われ、もしかしたらこのまま収束してくれるかもしれないと思わせる明るい兆しが見え始めた矢先、今度は感染力の強いオミクロン株の発生となり、以前と同様に、また1か月先のことすら予測できない状況になって参りました。

現在、国内でも発症者数が徐々に増えてきている状況ではありますが、この会報を皆様が読まれる頃には対応等がしっかりと取られていることを願っております。

さて、昨年の我々の業務に関係することとしまして、「民法・不動産登記法の一部改正」、「相続土地国庫帰属法の創設」、「土地基本方針の変更」、「所有者不明土地等対策の推進に関する基本方針」等が発出され、令和5年4月より順次施行される予定となっております。その中でも、我々に特に関係する「不動産登記制度の見直し」、境界標の調査、測量に関する「隣地使用権」、「財産管理制度」等については、今年、本部研修会を実施する予定としておりますので、ご案内の際には是非多くの皆様に受講していただきますようお願い

いたします。

また、既にご案内しております通り昨年より「年次研修」が始まりました。これは5年毎に土地家屋調査士の資格の責任と倫理保持を担保する義務研修でございます。当会では皆様を3つのグループに分けさせていただき、1年に1グループを対象とし、研修の参加については、集合かWebか希望を取って開催しております。

現在、Web研修について、集合研修と変わぬグループワークまでを実施しているのは、全国の調査士会の中でも当会だけありますし、システムにおいても皆様が各事務所から参加し易くなっておりますので、今年及び来年と受講される予定の方は、是非、Webでの参加をご検討いただければと存じます。

今年も引き続き新型コロナウイルス感染症と共存した生活になるのかもしれませんが、マイナス面だけではなく、今後、国民のニーズに応えるべく、リモートによる境界立会、押印廃止及びオンライン申請等のデジタル化にも速やかに対応できるよう、また、土地家屋調査士制度の発展のため、執行部一同引き続き全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、本年が皆様にとりまして、明るく希望に満ちた一年になりますことを心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

新年の御挨拶



山口県土地家屋調査士政治連盟 会長 **井上 哲也**

新年明けましておめでとうございます。

第21回定時大会において、会長職をお引き受けしてから、参議院議員の補欠選挙、衆議院議員の総選挙と選挙が続きましたが、不慣れな私を様々な方々にサポートして頂き、昨年度が無事に終わりました。皆様の御協力に感謝申し上げます。

司法制度改革や規制緩和政策により土地家屋調査士制度が大きく揺れ動いた平成12年6月、日本土地家屋調査士会連合会定時総会において政治連盟の必要性が提言され、平成13年5月に、全国の土地家屋調査士会毎に政治連盟が設立されました。

政治連盟が設立された経緯として、司法制度改革が進む中、土地家屋調査士が、隣接法律専門職として認知されていなかった事などの事由により、急遽設立された経緯もあるようです。

司法書士政治連盟は、昭和44年設立。行政書士政治連盟は、昭和56年設立。社会保険労務士政治連盟は、昭和52年設立。弁護士政治連盟は、昭和34年設立。と、我が政治連盟の設立は、他士業と比べましても大変遅く設立されています。

我が国の強制入会制度をとる全ての資格者団体は、政治連盟を設立しています。これは 資格者制度といえども政治の理解無くして制度の充実・発展が困難であることを物語っているのではないのでしょうか。

山調政連ではこれまで、山口県知事に対し本会与公嘱協会と連携し、調査士の利活用を求め要望書を提出してきました。また自民党や公明党の主催する、政策聴聞会にも出席し、調査士制度への理解を求めてきました。

とりわけ、令和2年に県知事に対して行った、「入札参加資格の業務委託種目に土地家屋調査士業務を新設する」という要望については、次期入札要綱作成の際に反映させたいという前向きな回答を県側から得ることができました。

更なる理解を得るため、昨年度は、当政連の顧問に就任いただいた県会議員の方々に、我々の業務の重要性をご理解頂くための勉強会を開催いたしました。

今年度も、勉強会を引き続き開催をしてゆこうと考えております。

山調政連の組織率は60%弱です。政治に声を届けようとする、組織率というのは非常に重要となってまいりますので、未入会の会員の方々の入会をお願い申し上げます。

最後になりますが、これからも、土地家屋調査士制度を守り、発展させてゆくため活動してまいりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

新年の御挨拶

公益社団法人

山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 代表理事 **八田 廣**



会員の皆様におかれましては、それぞれの思いを新たにして新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より当協会業務につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国内の経済活動はコロナ禍に左右される状況が続きました。我々の業界を取り巻く環境も大きく変化する中、当協会もWebによる会議や研修会の開催を余儀なくされています。また本年もコロナ禍の終息も未だに見通しが立たない状況が続いていくと思われませんが、過去2年にわたって経験したコロナ禍への対応を糧にして、引き続き感染拡大の動向にも注視しながら臨機応変に対処してゆく所存です。またその中で、昨年に協会が賃借していた応接室と会議室の壁を撤去したことで、以前より会議室が広くなりました。今後とも集合形式の会議のみならず、Web会議への対応もより効率的にこなすことができるよう、調査士会との協力協調体制を維持する所存ですので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

他方、当協会は、登記所備付地図作成作業の2年目作業を下松市で遂行しており、本年度内の完遂を目指しております。また昨年の下関市西入江地区での入札では、落札に至らなかったことへの検証を行い、また同時に、本事業は当協会業務の大きな柱の一つでありますので、今後とも法務局の期待に添えるよ

う、研究を重ね、業務に取り組んで参ります。

つぎに、調査士会と政治連盟による三者連携についてですが、令和2年度に山口県に提出した要望書に引き続き、本年も業界の発展のために、三者の連携を深めて参りたいと考えております。また各受託業務内における協会社員調査士の官公署の担当者様への対応や、受託業務に対する姿勢が、土地家屋調査士業界全体への信頼と理解を深めてもらうことに繋がりますので、今後の業務におきましても、土地家屋調査士であることへの自覚をもって業務にあたる所存です。

最後に、令和2年度の当協会の収支状況は大幅な黒字決算となっており、2期連続で黒字決算になったことは、業績上は大変喜ぶべきことである一方、収支相償が義務付けられている公益社団法人としては、今後の複数年にわたり今回の黒字額の解消を行わなければなりません。また将来起こりうる収入減に備えての特定費用準備資金の規程創設に向けての研究とともに、公益法人監督官庁所管課に対し、より一層のご理解をお願いする所存であります。結びに、新しい年が山口県土地家屋調査士会と会員の皆様にとって、より良い年となりますようにご祈念申し上げて、年頭の挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願いいたします。

令和3年度第1期土地家屋調査士年次研修の報告

業務部理事 阿川哲雄

令和3年10月22日（金）午後1時30分より令和3年度第1期土地家屋調査士年次研修の集合形式が山口県労働者福祉文化中央会館の4階にて行われました。コロナ禍の下、久々（約2年ぶり？）の集合形式の研修でした。（翌23日（土）には午後1時30分より同Web形式が行われました。）

このたびは日本土地家屋調査士会連合会会則第67条第2項に規定する「連合会が指定する研修」（義務研修）に指定され、初めて行うもので、我々業務部も、とりわけ「遅刻・居眠り」には厳重に対処すべく打合せをした上で臨み、終始緊張しながら進めていきました。

膨大な資料は、事前に印刷かノートパソコンに取り込み持参することをお願いしていたところ、当日忘れた方もいらっしゃいましたが、予め予備を印刷していた書類をお渡しして足りました。遅刻をした方はいらっしゃいませんでした。窓から外に目を遣ると時々暗くなった時もあり、動画を視聴する際は講師が単調な声と同じようなペースでありながらも明瞭に話されるので、開始後は特に「居眠り」に警戒しましたが、懸案の「遅刻・居眠り」

り」をする方がいらっしゃらなかったことについては、我々スタッフは胸をなでおろしました。

内容は、まず（1）職務上請求書では「特定事務受任者」としての職責や記載例を、また倫理懲戒処分については、事例を交えた厳重かつ細かい説明の映像教材の視聴を行い、次に（2）グループ討論（5～7名程度で、可能な限り業務年数が分かれるように組成）では、日常起こりうる近道的業務の是非について意見が分かれそうな難しい内容について、事前に役を決めていたグループ長がまとめ書記役が発表するというもので、活発に意見が交換されました。最後は（3）配布資料による研修で、「調査士報告方式」での申請形式に即した内容でした。

午後4時55分には履修証明書が交付され、午後5時には大過なく終了しました。

私は平成26年と28年に新人研修会を受け、非日常的な体験に感激した記憶がありますが、令和3年度になり今度は、研修の送り手の一部を担うとは、よもやよもやの出来事でした。



本部研修会報告

第3回本部研修会 (Web研修) 報告

広報部理事 荒川 猛

日時：令和3年12月4日(土)
14時00分～16時30分
場所：Web研修(配信ソフト：Zoom)
講師：鹿児島県土地家屋調査士会
境界鑑定委員会委員長
谷口正美 先生

研修内容：『裁判事例からみた境界鑑定』

- ① 業務に役立つアプリとサイトの紹介
- ② 土地家屋調査士制度の変遷
- ③ 筆界特定制度制定10年の歩みと未来への提言
- ④ 土地の境界に関する資料
- ⑤ 表題部所有者不明土地の探索
- ⑥ 裁判事例

参加者：会員57名 他会3名 合計60名

新型コロナウイルス感染症の拡大が少し収まりつつありましたが、オミクロン株が世界的に流行しており、大事をとってZoomを使用したオンライン研修での開催となりました。

研修の本題に入る前に谷口先生が土地家屋調査士になる前の職について話がありました。イラン・イラクでの中東戦争真っただ中に建設会社のお仕事で海外勤務し、当時の写真を交えて『戦争を体験しました』と笑いながら話してくださり、研修会の冒頭から衝撃的な話のスタートでした。鹿児島県の桜島の噴火についてもご紹介頂きました。

研修内容①では調査士カルテMap、国土地理院の空中写真、Google Earthの見方など普段日常業務で参考に行っているインターネットのサイトではありますが、上手に活用する方法を実際のパソコン操作を画面に見せながら詳しくご説明頂きました。私が参考になった

点は国土地理院地図の過去の地形図があることを初めて知りました。国土地理院の空中写真を2画面表示し、過去と現在を見比べて検証することができるテクニックがすごく便利が良く大変参考になりました。あとWindowsのアクセサリ内にある『Snipping Tool』の機能についても説明され、大変便利が良いアプリを教えてくださいました。

研修内容②では令和元年6月6日成立した土地家屋調査士の使命『土地の筆界を明らかにする業務の専門家』という規定ができるまでの変遷について、決して綺麗な流れで使命規定になったわけではなく、平成13年6月13日に土地家屋調査士政治連盟を設立し、政治活動を通じて得られた大きな成果であった事を知りました。

研修内容③では筆界特定制度の申請件数の推移と境界確定訴訟件数の推移を見比べて筆界特定制度発足後の10年の歩みについてご教授頂きました。筆界調査委員の経験が日常の調査士業務に役立つこともわかり、私も次回には筆界調査員に立候補したいと思いました。

研修内容⑥の裁判事例では木の年輪を調べることで土地の占有時期を特定した事件での苦労話を教えてくださいました。自分ではわからない案件が目前にあっても谷口先生のように懸命に調査し続けることで突破口が開けることを学びました。

後日談ではありますがこの日のZoom研修のことを先輩会員と立ち話して、本当に谷口先生の研修内容が素晴らしかったと噂になっていました。

最後にご多忙の中、鹿児島桜島の噴火が気になる中、講師を引き受けて下さった谷口正美先生に感謝申し上げます。



令和3年度第1回岩国支部研修会の報告

岩国支部理事 永田裕之

令和3年度第1回岩国支部研修会を下記のとおりWeb方式で開催致しました。

日時 令和3年10月30日（土）
13時30分～17時00分

場所 Web（配信ソフト：Zoom）

研修内容 第1部 調査士報告方式の申請方法について
講師：立山良祐

第2部 日常業務における問題点・疑問点について

① 山林地番地区における境界確認、境界特定根拠について
講師：永田裕之

② 工事施工者の印影確認について

参加者 17名（支部会員：全32名）

コロナ禍に伴い、主流となってくるWeb方式が今後の選択肢の一つと考えられる事から、積極的にWeb方式で会議・研修を行う事で、集合方式との違い（メリット・デメリット・問題点等）を把握し、また通常業務で忙しい中Web方式による研修会が参加者の負担軽減に繋がる事からWeb方式（携帯端末でも参加可能）に皆様が慣れる事により参加者増加が見込まれるのではないかと考え企画した旨、冒頭周原支部長より挨拶がありました。

第1部では、立山理事が講師となり、申請ソフトにより実際の入力方法を詳しく説明され、まだ使用していない会員も理解できたことと思います。

質疑応答の際、「調査士報告方式」の登記申請の導入について出席会員に尋ねたところ約半数の会員が導入済みでありました。

第2部①では私（永田）が担当しました。

私は登記業務・測量業務に関して全く経験・知識が無い状態から土地家屋調査士資格を取り実務（4年目）を行っている事から、資格試験等で得た知識と自分自身の感覚的判断と実務上の結果の差（違い）に悩んでいる事を議題（筆界）にし、講義を致しました。

参加者（先輩方）からも、今後の研修議題として良いのではないかと言う発言もあり岩国支部の一員として私自身が『何？』と言う疑問に対して述べられる様に勉強して行きたいと考えております。

②については、工事施工者の印鑑証明書の添付が省略されたことにより、その印影確認をどうしているか各出席会員へ質問がありました。

・今までどおり、印鑑証明書をもらう。

・コピーしたものをもらう。

等々、各会員それぞれの意見がありましたが、要は調査士として誤りの無いよう心掛けることが大切であり、相手方に対し説明責任さえ持つておけば、対処方法はそれぞれということでした。

全体的にはWeb方式の研修会について、質疑等は全員参加のディスカッションということでミュート解除し無難に終えましたが、少々もどかしい面もありました。

今後、若い調査士が積極的にWebを利用して意見交換し、発表できる場が増えて行けば良いと感じました。

以上、報告いたします。

令和3年度第1回宇部支部研修会の報告

宇部支部企画委員 白石龍二

日 時 令和3年12月10日（金） 18：00～
場 所 国際ホテル宇部
参加者 15名
研修内容 「Web研修について」
講 師 西村暢夫会員

コロナが落ち着き始めた12月10日に集合形式による支部研修会を行った。世の中は、リモート会議や、Web研修などオンライン形式が主流となっていますが、平均年齢60代後半の宇部支部はなかなか馴染めない会員が多いため、西村会員にお願いし、Zoomの初歩的なことからログインの仕方等丁寧に教えて頂きました。

宇部支部でもリモート会議やWeb研修を開催したいという意見もありましたが、やはり大半の会員は、集合形式が良いとの事でした。

参加された大半の方はZoomの使い方を理解されたことと思います。Zoomを使った支部研修はまだ難しいと思いますが、本部研修会の参加率が上がれば幸いです。

研修会の後は、懇親会も開催し、会員同士の親睦も図ることが出来、有意義な時間が過ごせたと思います。



『中国ブロック協議会担当者会同』の報告

広報部長 西村暢夫

中国ブロック協議会担当者会同が岡山県岡山市において下記の通り開催されました。

開催日時 令和3年11月26日（金）

13時30分～

令和3年11月27日（土）

12時00分

開催場所 第一セントラルビル1号館

岡山市北区本町6-36

出席者（山口会）

- ・中プロ役員 杉山浩志副会長、乗川慎二監事（以上、中プロ役職名）
- ・総務部 大來博康副会長、原田英樹部長、米原太一理事
- ・財務部 中川秀幸部長、木下修治理事
- ・業務部 大下竜司部長、安永健士理事、阿川哲雄理事
- ・広報部 西村暢夫部長、荒川猛理事
- ・社会事業部・境界問題相談センター 山根克彦副センター長、浦井義明運営委員

中国ブロック協議会三好正之会長（島根会会長）より開会の挨拶が述べられ、各部に分

かれて、協議が行われました。

以下、各部の報告を掲載致します。

（総務部）

広島会からは眞田副会長・平田常任理事（座長）、岡山会から伊東部長・秋田副部长、鳥取会から野田副会長（部長）・國米理事、島根会から佐藤副会長・加藤部長、山口会からは大來副会長、米原理事と私の3名が参加しました。

各会から集められた14議題+ aを協議しました。似た内容が数議題あり一括協議し、時間が余るのではないかと考えていましたが、追加の議題がでるなど活発な意見交換ができた会議となりました。

会則等規則集・会員名簿の作成について、形態（冊子or加除式・HP掲載等）・登載内容にも各会の理由があり、頷かされる意見もありました。

また、苦情・相談の件数・内容についても、各会対応担当者も対応件数も大きく違いがありました。しかし各会の苦情・相談マニュアルに従った対応をしているとのことでした。



内容のほんの一部ですが、その他の議題についても熱い意見がでて大変有意義な会議でした。

(総務部長 原田英樹)

(財務部)

財務部の分科会では主に以下の議題についての協議に時間をかけました。

① 会館の運営維持等について

島根会以外は会館を所有しており維持管理に大変苦勞しておられました。意見の抜粋として、

島根会…会館を建替えるのか、賃貸にするのかを会員に対しアンケートを取って賃貸に決めた。

岡山会…会館は耐震基準を満たしておらず、早急に建替えか賃貸の協議を進めていかないといけないが、今後の会員数の減少等を考えると賃貸が良いのでは。

広島会…作成している長期修繕計画に則り修繕を進めており、昨年はエレベーターの修理を行い80万円掛かった。

当会は今年になりエレベーターの耐用年数や部品供給停止の問題が起こったため、長期修繕計画を作成し今後の修繕積立について検討に入ったばかりだったので非常に参考になりました。

② 会員数の減少に伴う対応策について

全国的に会員数が減少傾向にある中、目前に迫っている2025年問題（団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になるタイミング）もあり、さらなる会員数の減少が危惧されるため、web会議・研修の積極的な活用等による経費削減や、将来的な会費の値上げもやむを得ないのでは、このまま会員数の減少が進めば連合会費の値上げもあるのでは？といった意見があがりました。

会費に関連して、広島会では滞納期間が6か月を1日でも過ぎた会員に対し即刻みなし退会とし、法務局に対してもその旨連絡を入れるとのことで、昨年も数名みなし退会にされたそうです。

また、当会より会員の増加に繋がりそうな事として、中国ブロックと東京法経学院が協定を結んでおり講座の学費について減免を受けられることができる事をお伝えし、各会において再度の周知をお願いしました。

(財務部長 中川秀幸)

(業務部)

業務部の分科会では各会から多くの議題があがりましたが、「立会について」、「研修会について」が主だったものでした。

立会については、各市町での官民境界立会について、隣接同意、里道対向地の同意につ



いて、狹隘道路整備事業の市町の対応状況についてなど、さまざまな議題を協議しました。管民境界立会について、所有者が死亡していれば相続人全員を特定する戸籍等の添付が求められる市があるなど、各縣市町でかなり対応の違いがありました。

研修会については、コロナ禍における研修会の実施について各会とも内容や方法を思慮していました。

また、年次研修については、各会の開催方法は異なりましたが、遅刻者に対しては原則欠席扱いとすることは一致していました。

その他、岡山会では岡山大学から就業体験実習についての打診があり、昨年度実施したが、受け入れ可能な事務所の特定が難しいとのことでした。

多くの議題があり、2日間みっちり協議し有意義な会議でした。

(業務部長 大下竜司)

(広報部)

広報部の分科会では、主な議題の内容と致しまして、70周年記念事業の報告、会報誌の内容、出前授業、広報活動の内容に議論しました。

会報誌の内容に関しましては、各会とも活動内容の報告などが多く、発行回数は、どの会も年2、3回で、岡山会だけは、毎月月報をメールで発信していて、冊子で作るのは、1月のみであると報告を受けました。出前授業では、どういう内容の講義をしているか、どういう経緯で現在行っている学校で出前授業を行うようになったかなど、意見交換が行われました。広報活動については、各会取り組んでおられ、広島会は、しらべ君というマスコットキャラクターで着ぐるみを、作成されていました。ただ、広報活動や70周年記念事業での経費等掛かった反省点もあげられま

した。

それと受験者数の増加に取り組む議題もあり、今後、中国ブロック管内だけでも、土地家屋調査士受験案内のポスターを作成してはどうかという意見があがりました。

当初、分科会の前に各会からあがってきた議題をみたときに、どの会も似たような議題であったので、時間があまるのでないかと思っていました。各会より活発的な意見があがり、各議題は1日目ではほぼ議論しましたが、2日目に前日の総まとめをして多少業務の話など行い、白熱した協議ができました。

(広報部長 西村暢夫)

(境界問題解決支援センター)

約2年振りの開催となった中国ブロック協議会担当者会同に、副センター長として初めて参加させて頂きました。

他会の方々も今年度から就任され、初めて参加された方が多かった印象です。

大田センター長は事情により不参加となったものの、事前に心強い助言を紙面にて頂き、私の不安は払拭されました。

各会からの主な議題は、「各センターの活動状況」「各センターの周知広報活動」、「ADR代理業務認定取得者とセンターとの関連」「法務局筆界特定室との連携状況」等が挙がりました。

山口会からは「判断能力の低下が疑われる高齢者、精神障がい者その他対応が困難な利用者への対処法」「当事者への連絡方法として、電子メール等の利用」「遠隔地の当事者とのウェブや電話等を利用する調停手続」「相手方の応諾を得るための工夫」を挙げさせてもらいました。

浦井運営委員より「対応が困難な利用者への対処法」として、大田センター長のメッセ

ージが紹介されました。『社会福祉法に基づいて「重層的支援体制整備事業」というものが新たな事業として始まったそうである。境界問題もこの中で取り扱っていただけるものかどうか、地域によって対応が異なるかもしれないが、地域包括支援センターに当たってみて、情報交換するのもよいかもしいない。』とあり、有益な情報を提供できたと思います。

遠隔地の当事者とのウェブ等を利用する調停手続において、コロナ禍において急速にウェブを用いた通話が広まるなか、調停においても当事者が希望するのではないか、利用出来るのではないか。それには、本人確認方法・秘匿方法等の問題があります。解決する方法として、各会のセンターに当事者を迎えて、ウェブにて調停をする方法があるのではないか。中国ブロックで協定を結び協力していきませんか、と提案しました。

各会もメリットしかないので、これから協力し、進めていきたいと思います。建設的な意見を頂き、今後前を向いて進むのではないかと期待します。

初めての参加でしたが、杉山会長、浦井運営委員のバックアップがあり、心強かったです。土地家屋調査士として境界問題を解決に導く事は、当事者同士の幸せが待っており、その支援は使命の一つではないかと思っています。この思いを大切に、これからも奮闘していきます。

(副センター長 山根克彦)

担当者会同は、2日間に渡って行われ、1日目終了後に、懇親会が開かれました。ただしコロナウイルス感染症予防のため、懇親会中は、席を立って、移動しないよう配慮がとられました。各テーブルにわけ、各々のテーブルで日頃の業務の話や雑談など、有意義な

時間を過ごすことができました。2日目の最後に全体会議として担当者会同で議論された内容が各部より発表され、全日程を終了しました。

最後になりますが、担当者会同の開催を運営して頂いた岡山会の皆様、中国ブロック協議会役員、出席された理事の皆様大変お疲れ様でした。

山口法律関連士業ネットワーク

山口法律関連士業ネットワーク定期大会報告

広報部長 西村暢夫

令和3年度山口法律関連士業ネットワーク定期大会、講演会が山口県司法書士会の引き受けにより下記の通り開催されました。土地家屋調査士会からは私のみが出席しました。

開催日時	令和3年10月6日（水）15時30分より18時まで
開催場所	山口市湯田温泉二丁目6番24号 ホテル ニュータナカ
定期大会	
講演会	民法・不動産登記法改正の要点解説 令和3年4月28日公布 講師 荒井 達也 弁護士（群馬弁護士会）

新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑み、定期大会・講演会の会場への出席者は、士業ネットワークの理事のみに限定し、会員の皆様にはWeb配信により視聴可能となり、懇親会は、中止となりました。

定期大会は、理事長である司法書士会の渡邊一正会長の挨拶、士業ネットワークの各理事の紹介、令和2年度事業報告及び決算報告、令和2年度監査報告、令和3年度事業計画及び収支予算の報告がありました。

講演会は、荒井達也先生により民法・不動産登記法改正のお話をして頂き、資料のほうも要点ごとに詳しくまとめられており、貴重な講演でした。

最後になりますが、当番会として運営して頂いた司法書士会の皆様及び士業ネットワークの理事の皆様大変お疲れ様でした。1日も早く新型コロナウイルスが終息に向かい通常の定期大会が開催されることを願うばかりです。



「第24回一斉共同相談会」開催報告

広報部長 西村暢夫

開催日時 令和3年11月6日（土）10時～16時
 開催場所 KDDI 維新ホール（山口市産業交流拠点施設）
 相談件数 26件（内調査士対応3件）

令和3年11月6日に山口法律関連士業ネットワークの第24回一斉共同相談会が開催されました。土地家屋調査士会から、杉山会長と私の2名が相談員として参加しました。

全体の相談員は30名で、相談件数の内、21件が事前予約で当日の案件が5件あり全体で26件ありました。直接、土地家屋調査士業務に関係する案件では、ありませんでしたが、他の士業の方と一緒に対応を行い、自分自身も大変勉強になり、今後のスキルアップに繋げていこうと思いました。

最後になりましたが、今回当番会にあたり準備、運営して頂いた司法書士会の皆様及び参加された相談員の皆様大変お疲れ様でした。



1. 相談者数

事前予約	当日	計
21	5	26

※事前予約は24名であったが、前日1名キャンセル、当日2名来場しなかった。

2. 相談者の性別

男	女	計
10	16	26

3. 相談員の数および相談対応回数

団体名	相談員数	対応回数
弁護士会	5	8
行政書士会	2	5
公認会計士協会	2	2
司法書士会	12	18
社会保険労務士会	2	1
税理士会	2	10
土地家屋調査士会	2	3
弁理士会	2	0
不動産鑑定士協会	1	1
計	30	48

※相談員数は延べ人数

4. アンケート回答者

相談者	回答者	回答率
26	26	100.0%

5. 相談者地域

下関市	宇部市	山口市	防府市	下松市	長門市	美祢市	周南市	計
1	2	15	3	1	1	2	1	26

6. 相談会を知ったきっかけ(複数回答あり)

チラシ	3 (10.7%)
市町広報誌	4 (14.3%)
各士業窓口	1 (3.6%)
サンデー山口	8 (28.6%)
ほっぷ	0 (0.0%)
新聞・テレビ・ラジオ	3 (10.7%)
官公庁	3 (10.7%)
友人・知人	0 (0.0%)
インターネット	6 (21.4%)
その他	0 (0.0%)
計	28 (100%)

7. 他の機関で相談した回数

ない	21 (80.8%)
1回ある	3 (11.5%)
数回ある	1 (3.8%)
無回答	1 (3.8%)
計	26 (100%)

8. 説明は理解できたか

大変良く理解できた	18 (69.2%)
だいたい理解できた	6 (23.1%)
あまり理解できなかった	1 (3.8%)
全く理解できなかった	0 (0.0%)
無回答	1 (3.8%)
計	26 (100%)

9. 相談を受けての感想

非常に満足	12 (46.2%)
満足	9 (34.6%)
一応満足	0 (0.0%)
納得	3 (11.5%)
不満足	1 (3.8%)
無回答	1 (3.8%)
計	26 (100%)

山口県立岩国工業高等学校PTA交流授業の報告

岩国支部 井上雄太

日時 令和3年10月21日(木)
 参加会員 荒川猛会員、永田裕之会員、井上雄太会員
 授業時間 2時限目
 午前9時55分～10時45分
 3時限目
 午前11時00分～11時50分
 場所 山口県立岩国工業高等学校 校舎内
 対象クラス
 1～3学年(機械・システム化学40名、電気・都市工学科35名)
 交流授業テーマ
 資格試験一発合格のエピソード

授業内容

<前半>

永田裕之会員が土地家屋調査士についての大まかな全体像を説明され、法律や、土地家屋調査士と他士業(司法書士や税理士等)との比較、土地家屋調査士の平均年収等をテーマに話しました。印象に残ったのは、登記ができる建物についてクイズ形式で話していると、数名がメモを取っており、真面目な生徒だなと感じました。法律の話は高校生にとっては今まで聞いたことないような用語が出てきて、難しい内容だったと思いますが、生徒は一生懸命に話を聞いており、理解しようとする姿勢が見られました。

<後半>

荒川猛会員が、土地家屋調査士の資格を取得するまでのエピソードを説明されました。ご自身がFacebookに投稿した文章をレジュメとして配り、そこに書かれていたのは、試験に合格するまでの苦労や家族のサポート、合格した時の嬉しさや家族への感謝についてです。実体験なので、すごく具体的なエピソードであり、この文章をもとに一本のドラマができるのではないかと思うような内容でした。荒川猛会員が抑揚をつけながら、感情をこめて話していたので、生徒はもちろん、私も話の内容に惹き込まれました。また、試験

に合格するための勉強方法を話し、学生にとっては興味深い内容だったのか、真剣に話を聞いていました。

<残り時間>

残りの5分か10分くらいの時間で、私(井上雄太)に対する質問コーナーを行いました。先生からの質問はありましたが、生徒が自分で手を挙げて質問することはありませんでした。時間が余っていたので、少しだけ自分が伝えたいことを話しました。仕事の種類は様々あって、選択肢はたくさんあるが、その選択肢のひとつに土地家屋調査士という仕事があれば幸いですと伝えました。生徒の前で話すことは今までになく、緊張しましたが、初めてのことであったので、新鮮な気持ちで話すことができました。それと同時に、毎日生徒の前で話している学校の先生はすごいなと思いました。

この授業を通して、生徒が少しでも土地家屋調査士に興味を持って、何の仕事をしようか悩んでいるときに「そういえば学校で土地家屋調査士という仕事があったな。ちょっと調べてみよう」となるようなきっかけ作りになればいいなと思います。

最後に、岩国工業高校に交流授業の機会を頂けることに、感謝を申し上げます。また、授業の内容を考えて準備して下さった荒川猛会員と永田裕之会員に、お礼を申し上げます。



事務所紹介



岩国支部

安永健士 事務所

柳井市柳井3676番地16

やすながけんじ
会員氏名 **安永健士**

Q. 家族構成（事務所のスタッフ）について教えてください。

家族構成ですが私（今年で38才）、妻、子ども2人の4人暮らしです。

事務所については20代の補助者が1名です。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

柳井駅から徒歩10分弱の自宅の一部を事務所としています。自宅隣の親戚の土地に事務所建築を計画していますが、仕事の合間に進めており、なかなか進んでいません。

Q. 調査士になったきっかけは？

大阪の大学卒業後、某メーカーでサラリーマンとして働いていましたが、将来的に実家に帰る事を考えていたので、思い切って仕事を辞めて関西の事務所で補助者をしながら、27才の時に試験合格しました。忙しい事務所にいた事もあり、電車通勤の合間に勉強したりして大変だった記憶があります。その後、33才の時に当時の事務所を辞めて山口に戻って独立しました。

補助者時代は大変でしたが、いろんな実務の経験をさせてもらい、たくさん知り合いが出来て今となっては良い思い出です。

Q. 趣味・特技・自慢・（最近ハマっていること）などについて教えてください。

趣味かどうかは分かりませんが、昔からお菓子、ご飯を食べることが好きです。10代、20代の頃はお店の〇〇人前食べたら無料とかに挑戦して完食したりもしました。ただ30代に入ってからあまり量が食べられなくなり、今は量よりもおいしいご飯が食べたいです。



Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか？

立会時には事前準備は念入りにして、どんな質問にも答えられるようにして臨むようにしています。(それでも想定外の事を聞いてくる人もいますが…。)

また、図面についてはずっと残るものであり、補正等でやり直しの手間も嫌なので、細かい所迄チェックして申請するようにしています。同じ日に見たら、間違いがあっても気づかない事があると補助者時代に言われていたので、前日にすべて申請準備しチェックし、申請日当日にもう1回チェックして申請するようにしています。

よく人に言われますが細かい事まで気になる性格です。



Q. 休日の過ごし方について教えてください。

休日がとれるときは、とりあえず一人でどこかに出かけるか、家族で外出するかで仕事を忘れるようにしています。あまり家族サービスはしていませんが、子どもの行きたい所に行くようにしています。

Q. 使用している光波、測量ソフトについて教えてください。又、その良いところは？

ソキアのトータルステーションiX505と測量ソフトは福井コンピューターのTREND-ONEを利用しています。他の主要メーカーのトータルステーションも使った事がありますが、自分にはソキアが操作しやすく感じたので、開業時にもソキアのトータルステーションにしました。CADについては補助者時代からずっと福井コンピューターのCADを使っており、他のメーカーは使った事はありません。

Q. その他（題材は）ご自由に

開業してもうすぐ5年ですが、関西から山口へ戻っての開業で、最初はやっていけるだろうかと不安でしたが、調査士の同業の先生、司法書士の先生、色々な方にアドバイスを頂いたり、親切にしてください、今に至っています。みなさんありがとうございます。

また、今年度から本会の業務部に配属になりましたが、色々な事に参加させてもらい、とても良い経験をさせて頂いています。興味深い内容の研修が開催でき、参加者が増えたらと思います。

萩支部

三好一敏 事務所

萩市大字瓦町16番地



みよしかずとし
 会員氏名 三好一敏

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

家族は現在家内と2人だけ。娘3人はとっくに嫁ぎ、3組とも福岡市に住んでおり、合計7人の孫がいる。事務所は父親が亡くなって守永辰夫司法書士(元法務局OB)を迎え私と家内を含め合計10人体制。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

萩市の市街地中心部、毛利の殿様が江戸への参勤交代で通っていたお成り道沿いにあり、近くに高杉晋作、木戸孝允の旧宅がある。コロナ禍で観光客の姿が消えていたが、最近事務所前を歩く観光客がようやく戻りつつある。萩観光の復活を感じている。

Q. 調査士になったきっかけは?

昭和30年代、まだ私が小学生、中学生であった頃から父親の調査士業を手伝わされており、休日には決まったようにポール、テープの端を持って走らされていたこと。アルバイト代の小遣いが貰えたことが懐かしく思い起こされる。子供時代から起業することが夢であった。

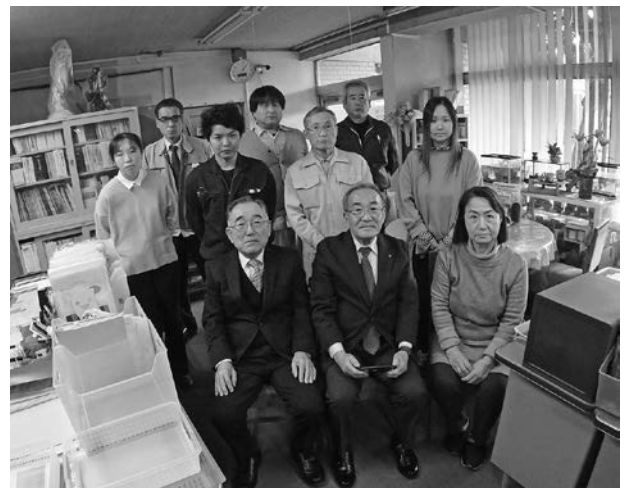
Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること)などについて教えてください。

齢を重ねる毎に変わってきた。若いころ(20代の頃)は機械いじりが好きで、軽四輪車を改造して4輪ダブルタイヤにしたサウンドバギーを自作し、実際に砂浜に乗り入れたが、埋まりこんだため助っ人を呼び5-6時間かけて人力



事務所全景

昭和44年建築の当時スーパーマーケットとして建築された建物。一時大手電機部品萩工場であったが撤退に伴い昭和51年三好事務所として購入。鉄筋コンクリート造一部4階建ての1階と2階半分を事務所として使用。2階半分は萩公証役場として賃貸している。3階は5部屋あるも、すべて物置、倉庫である。屋上にはソフトバンクの5Gアンテナ外2本のアンテナが設置してある。



私と守永辰夫司法書士、家内及び事務所スタッフ。令和4年1月、仕事初めにあたり全員揃って撮影。(事務所内)

で押し脱出したことがある。2輪駆動車であったことと当時の車の低馬力低性能を考慮していなかったことが原因である。

次も20代の頃。今から50年前、開業時は電卓もない時代である。三角定規、三角スケール、関数表とそろばんで面積計算や座標計算をしていた。開業10年後頃には簡単なプログラムを組める卓上プログラム電卓が市販された。まだ関数が組み込まれていないため、テーラーの展開式を使って三角関数計算プログラムを組み計算することを編み出した。座標計算がそろばんに比べ格段に速くなり且つ計算ミスもなくなった。

20年前頃、自作パソコンを作ることが流行り始めると飛びつき、部品を買い集め組み立てて動いたときには感動したものである。性能の高いパソコンに仕上げるために常に高性能部品を探し組み替え改良を加えていたが、いつしか市販パソコンの方が安くなり性能も遜色無くなってきたため高性能自作パソコンへの挑戦は終焉となった。今では動かすこともなくなった廃パソコンが部屋の隅に積まれている。

趣味については、機会があれば別稿で書いてみたいものだ。

Q. 休日の過ごし方について教えてください。

コロナ発生以降家で一日中過ごしている。運動不足を痛切に感じるし、刺激が少ないため脳の退化が急激に始まっているのではないかと心配で心配で恐怖に感じている。かといって出かけるにはコロナが怖い。コロナ前は、天気の良い日は家内とドライブに出かけることが習慣であった事が懐かしい。

Q. 好きな食べ物、嫌いな食べ物は何ですか？

子供時代から好き嫌いはなかった。母親のしつけによる賜であろう。特に子供時代は家業が豆腐屋であったため、今でも豆腐は良く食べる。更に餅も好きだ。特にあん餅を雑煮として食べる。あん餅を味噌汁に入れたりもする。我が家独特の食べ方なのか、他の人に話すと驚かれる。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

平成18年、萩市で法17条地図作製（後に法改正で14条に変わった。）に携わった。どちらかというと私が無理矢理誘致したと言っても過言ではない。この作業を誘致するために事前の法務局との作業計画段階から予算要望のための計画書作成等1年以上前から取りかかり、萩市長と面談し、萩市からも法務局に対し要望書を出して貰ったりもした。

公嘱萩支部会員は少なかったため各事務所補助者総出で取り組んだ作業であった。立ち会い、測量作業等順調に進み立派な成果を取めることができた。法務局地図作製作業は儲からない仕事であるとレッテルが貼られていたとおりに、この年の我が事務所の売り上げは前年比で50%程度となり、その後何年にもわたる経営的後遺症に苦しむこととなった。

Q. 『開業後の経験が少ない調査士の方へのアドバイス』をお願いします。

かつて開業して間がない頃、悪質な不動産業者に狙われるという事例に引っかけたことが

あった。悪質業者は新米調査士に無理難題を押しつけそれまで他の調査士で出来なかった業務を持ち込んで来た。苦勞して業務を完遂したが、金も払わずに以後の連絡を絶ち不通となった。このような経験は1度や2度ではない。特に気をつけなければならないのが、地の利がない他管轄法務局管内の業務は用心をしてかかるに越したことはない。地元調査士が依頼者を信用できず断った仕事を事情の知らない他管轄の調査士に廻して来るケースがある。何か問題があるのではないかと疑ってかかる必要がある。用心するに越した事はない。

新しく開業した人たちは是非同期の調査士仲間や先輩調査士との交流を深め、情報交換を密にし、自身の業務処理の方法でいいのか、もっと改善される部分はないのか、是非仲間作りに力を注いで欲しい。そのことが自身の成長を助け、危ない橋を渡らずに済むことにも繋がるはずだから。

個人経営である調査士業務をどのようにして自己を売り込み仕事に繋げるか、開業後誰もが苦勞しながら仕事を開拓し顧客の信頼を得ながら、仕事を増やしている。特効薬のような早道はない。やはり多くの知人友人を作る人脈作りが大切である。PTA活動への参画、町内会活動で積極的に役員を引き受ける、奉仕団体に加入して活動する等、自己PRを図り売り込むこと、地域社会に溶け込むことが大切な営業活動の一つであり仕事に繋がる近道であると知っておくことだ。



三好一敏 プロフィール
 昭和22年3月29日生 74才
 登録番号 山口第587号
 入会 昭和45年4月3日
 事務所 萩市大字瓦町16番地
 三好・守永合同事務所 代表者

富士山

萩支部 廣石 勝

古今東西、プロ・アマを問わず、描かれ写され、愛されてきて、日本人の心を潤す山。この山の美しさは海外にも広く知られている。先人たちが築き上げ信仰から独自の文化が生まれたことから、2013年に世界文化遺産となる。

周辺をぐるりと巡り、時と所を変えれば、山の色々な変化を楽しむことが出来ることから、「赤富士・青富士・逆さ富士・ダイヤモンド富士」と呼ばれることもある。

周囲の地名も、地図を見れば、山中湖・忍野八海・白糸の滝・青木ヶ原樹海・三保松原など、知れ渡った名が多く存在する。

山頂に登る事だけが楽しみ方ではなくて、麓や中腹にも、ハイキング等の魅力がある。


このスケッチは、JR東海道線の駅プラットホームから見る事が出来る範囲で、急いで描いたものである。近くに住む、この山のファンがこの山についての情報が詳しいようである。私も何回か写すことを試みたが、タイミングが悪く、うまく撮影できなかったこともある。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL
	まつなが ただし 松永 匡史 (S56.6.12)	R 3.12.1	〒753-0001 山口市宮野上86番地1	(090) 7542-5659

◆新入会員よりひとこと

松永匡史 会員

熱爛のおいしい時期になりました。この度、土地家屋調査士会に入会させていただきました松永匡史と申します。前職は公営競技（ボートレース）の場外発売場管理を行っておりました。社会人になってから不動産業界と何か縁がありまして、5年ほどの補助者経験を経て現在に至っております。休日はゴルフの練習と包丁を研いだりして過ごしております。

まだまだ覚えることがたくさんある立場でありますので、ご指導くださいますようお願いいたします。

2. 会員数

令和4年1月1日現在会員数

会員数 208 法人数 3

3. 事務所変更

支部	氏名	変更 年月日	変更後		
			事務所	TEL	FAX
防府	篠田 智昭	R 3.10.4	〒747-0043 防府市平和町9番15号	—	—
防府	内田 博司	R 3.11.15	〒747-0845 防府市大字仁井令1012番地の8	—	—

4. TEL・FAX等変更

支部	氏名	変更事項	変更後
岩国	河近 卓美	メールアドレス	new.kawatec@suo-cable.net
下関	勝又 都	FAX	050-1497-7236

会務報告

開催日	会務	場所
9月1日(水)	杭の日無料相談会	県下3会場 (岩国・周南・山口)
9月2日(木)	第3回理事会	(電子会議)
9月9日(木)	告発に関する対応	下関市
9月11日(土)	令和3年度ADR特別研修 考査	広島市
9月16日(木)	第6回業務部会	調査士会館
9月27日(月)	全国会長の広場 (Web)	(電子会議)
9月29日(水)	第3回総務部会	調査士会館
9月30日(木)	告発に関する対応	下関市
10月6日(水)	山口法律関連士業ネットワーク定期大会	山口市
	告発に関する対応	下関市

購入代金を一部助成します

土地家屋調査士オリジナルウェア販売中

土地家屋調査士オリジナルウェアの購入に際し、今年度も、カタログ定価の2割を会で助成しております。「土地家屋調査士」とスタイリッシュなロゴが入ったポロシャツや作業着は、立会の際など土地家屋調査士であることが分かりやすいと、好評です。

カタログ、注文書はホームページの会員のページにアップされています。事務局にもございますので、お気軽にお問い合わせください。



例えばこちらの半袖ポロシャツ (Mサイズ黒) の場合、税込み3,300円の商品が、会からの600円の助成により2,700円で購入できます！



この季節に大活躍する防寒コート。Mサイズの場合、税込み9,680円の商品が会からの1,760円の助成により7,920円で購入できます。

(※価格は令和3年12月現在のものです)

開 催 日	会 務	場 所
10月7日(木)	第7回業務部会	調 査 士 会 館
	年次研修リハーサル	調 査 士 会 館 (電 子 会 議)
	会館長期修繕計画に関する協議	調 査 士 会 館
10月13日(水)	境界問題相談所	宇 部 市
10月14日(木)	第8回業務部会	調 査 士 会 館
	法務局登記部門と調査士会業務部との協議会	調 査 士 会 館
10月18・19日(月・火)	全国会長会議	東 京 都
10月19日(火)	年次研修リハーサル	調 査 士 会 館
10月21日(木)	岩国工業高等学校PTA交流授業	岩 国 市
10月22日(金)	土地家屋調査士年次研修(第1期第1回)	山 口 市
10月23日(土)	土地家屋調査士年次研修(第1期第1回)	(ウ ェ ブ 研 修)
10月25日(月)	上半期監査会計書類確認作業	調 査 士 会 館
10月29日(金)	上半期監査	調 査 士 会 館
	第3回財務部会	調 査 士 会 館
11月2日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局 下 関 支 局
	第3回境界問題解決支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
11月5日(金)	第9回業務部会	調 査 士 会 館
11月6日(土)	士業ネットワーク一斉共同相談会	山 口 市
11月9日(火)	第1回IT準備委員会	調 査 士 会 館
	財産管理人支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
11月10日(水)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局 宇 部 支 局
11月13日(土)	自主支部長会	岩 国 市
11月16日(火)	法テラス山口地方協議会	山 口 市
11月26・27日(金・土)	中国ブロック協議会担当者会同	岡 山 市
11月27日(土)	中国ブロック協議会役員会議	岡 山 市
12月1日(水)	第2回IT準備委員会	調 査 士 会 館
12月4日(土)	第3回本部研修会	(ウ ェ ブ 研 修)
12月6日(月)	山口会新人研修会事例用事前測量	調 査 士 会 館
12月7日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査報告	山口地方法務局
	第4回総務部会	調 査 士 会 館
12月8日(水)	登録証交付式	調 査 士 会 館
	境界問題相談所	山口地方法務局
12月9日(木)	第9回業務部会	調 査 士 会 館
12月15日(水)	第4回境界問題解決支援センター運営委員会	(電 子 会 議)
12月17日(金)	会報編集会議	調 査 士 会 館
	第3回常任理事会	調 査 士 会 館
12月23日(木)	西本聡士顧問叙勲受章式(取材)	山口地方法務局

補助者のみなさま、会員のご家族のみなさま

東京法経学院の土地家屋調査士講座が お安く受講できます！

山口県土地家屋調査士会は、日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会を通じ、東京法経学院と協定を結んでおります。この協定は会が推薦する方は、割引が適用された受講料で東京法経学院の講座が受講できるというものです。

割引後の受講料は下記及び次のページでご確認下さい。



補助者のみなさまや会員のご家族のみなさまに、ぜひこの制度を利用して土地家屋調査士を目指していただきたいと思います。

受講を希望される方は、会より推薦書を発行しますので、会員を通じて事務局までお申し出下さい。

なお、当会会員の方で、他士業の資格の講座を受けるときも割引が適用される可能性がありますので、事務局までお申し出下さい。

東京法経学院通学講座

単位：円

	講座名・受講コース	通常学費	減免学費 (特別割引価格)	減免率
土地家屋調査士	土地家屋調査士 本科（基礎講座）+ 合格直結答練 + 総整理・速解答練パックコース	599,500	329,725	減免率 (通常学費の 一律4.5割 引)
	土地家屋調査士 本科（基礎講座）+ 実戦答練+総整理・速解答練パックコース	555,500	305,525	
	土地家屋調査士 本科（基礎講座）+ 合格直結答練パックコース	530,200	291,610	
	土地家屋調査士 本科（基礎講座）+ 実戦答練パックコース	486,200	267,410	
	土地家屋調査士 本科（基礎講座）のみ	354,200	194,810	

※この学費一覧表は、令和3年5月現在のものです。上記の入学金・受講料には消費税が含まれています。

広報部より

編集後記

新しい年が始まりました。読んで楽しく、役立つ情報誌としたいです。がんばりますので、広報部より投稿のお願いがございましたら、よろしくお願ひします。

(広報部理事 廣石 勝)



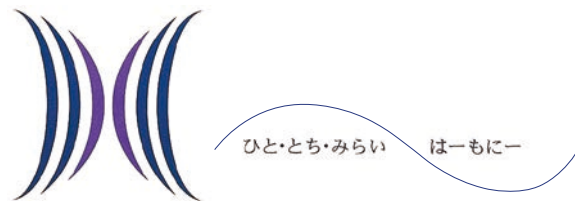
東京法経学院通信教育

単位:円

講座名・受講コース	受講タイプ	通常学費	減免学費	減免率	受講期間	募集期間
		2021/1月~	(特別割引価格)			
最短合格講座 【基礎力養成編+合格直結答練】 +総整理・速解答練	DVDタイプ	455,400	296,010	減免率 (通常学費の 一律3・5割)	6カ月	随時開講中
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	380,600	247,390			
	DVDタイプ&合格直結答練通学タイプ	422,400	274,560		6カ月	
	映像ダウンロード&合格直結答練通学タイプ	392,700	255,255		6カ月	
最短合格講座 【基礎力養成編+合格直結答練】	DVDタイプ	407,000	264,550		6カ月	
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	342,100	222,365		6カ月	
	DVDタイプ&合格直結答練通学タイプ	382,800	248,820		6カ月	
	映像ダウンロード&合格直結答練通学タイプ	353,100	229,515		6カ月	
最短合格講座 【基礎力養成編+実戦答練】 +総整理・速解答練	DVDタイプ	415,800	270,270		6カ月	
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	349,800	227,370		6カ月	
	DVDタイプ&実戦答練通学タイプ	376,200	244,530		6カ月	
	映像ダウンロード&実戦答練通学タイプ	347,600	225,940		6カ月	
最短合格講座 【基礎力養成編+実戦答練】	DVDタイプ	368,500	239,525		6カ月	
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	311,300	202,345		6カ月	
	DVDタイプ&実戦答練通学タイプ	336,600	218,790		6カ月	
	映像ダウンロード&実戦答練通学タイプ	306,900	199,485		6カ月	
最短合格講座 【基礎力養成編+総合模擬答練】 +総整理・速解答練	DVDタイプ	354,200	230,230		6カ月	
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	302,500	196,625		6カ月	
	DVDタイプ&総合模擬答練通学タイプ	336,600	218,790		6カ月	
	映像ダウンロード&総合模擬答練通学タイプ	306,900	199,485		6カ月	
最短合格講座 【基礎力養成編+総合模擬答練】	DVDタイプ	305,800	198,770	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	264,000	171,600	6カ月		
	DVDタイプ&総合模擬答練通学タイプ	295,900	192,335	6カ月		
	映像ダウンロード&総合模擬答練通学タイプ	267,300	173,745	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編】のみ	DVDタイプ	222,200	144,430	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	182,600	118,690	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+合格直結答練】 民法無 +総整理・速解答練	DVDタイプ	410,300	266,695	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	342,100	222,365	6カ月		
	DVDタイプ&合格直結答練通学タイプ	378,400	245,960	6カ月		
	映像ダウンロード&合格直結答練通学タイプ	343,200	223,080	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+合格直結答練】 民法無	DVDタイプ	361,900	235,235	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	303,600	197,340	6カ月		
	DVDタイプ&合格直結答練通学タイプ	337,700	219,505	6カ月		
	映像ダウンロード&合格直結答練通学タイプ	314,600	204,490	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+実戦答練】 民法無 +総整理・速解答練	DVDタイプ	371,800	241,670	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	311,300	202,345	6カ月		
	DVDタイプ&実戦答練通学タイプ	332,200	215,930	6カ月		
	映像ダウンロード&実戦答練通学タイプ	312,400	203,060	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+実戦答練】 民法無	DVDタイプ	323,400	210,210	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	272,800	177,320	6カ月		
	DVDタイプ&実戦答練通学タイプ	292,600	190,190	6カ月		
	映像ダウンロード&実戦答練通学タイプ	268,400	174,460	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+総合模擬答練】 民法無 +総整理・速解答練	DVDタイプ	309,100	200,915	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	264,000	171,600	6カ月		
	DVDタイプ&総合模擬答練通学タイプ	291,500	189,475	6カ月		
	映像ダウンロード&総合模擬答練通学タイプ	268,400	174,460	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編+総合模擬答練】 民法無	DVDタイプ	260,700	169,455	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	225,500	146,575	6カ月		
	DVDタイプ&総合模擬答練通学タイプ	251,900	163,735	6カ月		
	映像ダウンロード&総合模擬答練通学タイプ	228,800	148,720	6カ月		
最短合格講座 【基礎力養成編】のみ民法無	DVDタイプ	178,200	115,830	6カ月		
	映像ダウンロードタイプ (WMVファイル)	155,100	100,815	6カ月		

土地家屋調査士

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 乗川 慎二
広報部長 西村 暢夫
理 事 荒川 猛
〃 廣石 勝
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net